



日刊日曜日... 日刊日曜日... 日刊日曜日...

座講識常

デブオーションは... 信仰、専身、献身の意... だ、デイヴィンティ...

武運長久の祈願祭

石城郡鹿島村の郷社鹿島神社にて... 祈願祭として知られてゐるが...

甘圓寄附

平市宇胡澤町大工職田田清氏は... 戦時気分が緊張から能率増進のため金二十圓を今十日市の軍事後援會へ寄附した。

慰問献金

石城郡内郷村家政女学校では... この程同様に開催したバザーに於ける賣上金十五圓を生徒一同の代表山崎く子さんの名で軍事慰問費に寄附した。

青果市況

Table with market prices for various fruits like apples, pears, and oranges.

塵の中に動く五婦人 国防献金に鐵屑拾ひ

燃ゆる愛國心を胸に秘めて 賣上げた金額三十五圓

石城郡江名町の南の町端れに設けてある同町塵埃集場に於ける階下の波打際に風雨の日を厭はず二、三人づゝの女が毎日塵埃の中から金物屑やその他の物を拾ひ集めてゐる。その之れを見る人々は生活に困る者の糧の爲めの精根ぐらゐに憐みと羨すみの目を向けた同町の方面委員大瀧某氏も同情すべき氣の毒な境遇にあるものならと救への氣持ちで附近に住む五、六人の婦人達を訪ね次第を賣して見ると小泉つる 作山ふく 工平とめ 白土ます 佐藤まつの五名の婦人が国防費の中へ献金して貰ひたいと金三十五圓を差出されたので大瀧委員

で同地長倉の第二製炭に働いてゐたが上海戦で名譽の戦死をなした郷家には母まさ(五七)さん妻きく(三三)さん長女幸子(五五)さんがあり妻きくさんは同坑の操炭婦として働いてゐる。田邊三男(〇〇)兵、石城郡泉村の下川出身、父誠策氏(三三)の三男で上海戦線に於て戦死をなす留守宅には母むら(五三)さん妻たけ(三〇)及びたけよ(三〇)との間に七才を頭に三人の子を残してゐる。三男君は青年精農家で青年團の幹部に推され村内から信用のあつた君である。秋本源(〇〇)兵、石城郡川

前村下桶賣出身で数年前父に死別した留守宅には母わき(五七)さん妻きく(三三)さん弟藤男(〇〇)君を残して戦死したが郷家前まで見送られた野新町の鐵工場に働いてゐる。矢内榮治(〇〇)兵、石城郡三坂村の差遣出身で十四年前父に死別し郷家には母みつ(五六)さん妻さき(三三)さんと當年五才の長男及び三才の子供を残して戦死した同君は相馬郡高平村の下高平生れ昭和四年矢内家に養子になつたもの向は満州事變にも出征した勇士である。

と同君の長女よね(〇〇)次女やす(五六)三女とし子(二〇)の外に弟一人妹三人がある向は同君は非常な精農家で部落からの信用も厚く出征前まで在郷軍人分會の幹部として活動されてゐた。

入場は出来ない、講師は左記の諸氏である。八巻平署長 青沼平市長 青柳本縣警察部長 福島聯隊區本多佐(以上)。

石城郡鹿島村の郷社鹿島神社にて祈願祭として知られてゐるが、今十二日午前九時から同地の舊郷二十三ヶ村出身應召軍人の爲め武運長久祈願祭を執行し出征家族に守護札を贈つたが多数の参詣者であつた。

平市宇胡澤町大工職田田清氏は戦時気分が緊張から能率増進のため金二十圓を今十日市の軍事後援會へ寄附した。胡澤澤の姪田氏。

石城郡内郷村家政女学校ではこの程同様に開催したバザーに於ける賣上金十五圓を生徒一同の代表山崎く子さんの名で軍事慰問費に寄附した。

石城郡利の四倉茶種搾油所では軍部から望まれる白絞油の爲め九州福岡市の末次器械工場から同製油機を購入し同機を据付中であつたが漸く完成農林省の斡旋で前記福岡市から搾油機を専門技師出身末次伴一郎技師を聘し今十二日から白絞搾油の操業を開始したが操業通りの成績を得て愈々同油の需要にも應じられることになつた右の搾油機は上費約五千圓を要し主務省から四分の三の助成金を交付されることになつたが従來の原油搾油量年産六百石を全部

白絞に希望されるればこれを製油するに充分な能力を有し今後は同油及び原油の何れでも注文に應ずることになつた。

永潮徳男(〇〇)兵 下平の出身身 今日戦死通知 永潮徳男(〇〇)兵 永潮徳男(〇〇)兵 永潮徳男(〇〇)兵

石城郡内郷村野城嶽住吉坑圓谷合宿所坑夫粉木照芳君は去る八月二十日水戸刑務所から十ヶ月の刑を終えて放免された後東京市小石川區八千代町自由労働者宿泊所に入り日雇工をしてゐるが以前入山炭坑に採炭夫をしてゐた経験から今月八日警察に來たり任吉坑に使役されて圓谷方

に落着いたが全然働く氣がなかつた近づくにつれて賣上金一杯進せやうと誘はれたのが同合宿所の坑夫星龍一(一六)と同會根長九郎(三〇)で兩名に料理店へ案内させ甘圓一枚もつてゐるからと酒宴を始め隣家の泉屋方から酌婦ふみ子(三〇)を招き八圓五十錢分を遊蕩して勘定となると下帯まで脱した全裸体で暴言を同き誘つた二名にも喧嘩を吹きかけて常習の最後の手に出たもので前科数多ある模様である。

石城郡内郷村家政女学校ではこの程同様に開催したバザーに於ける賣上金十五圓を生徒一同の代表山崎く子さんの名で軍事慰問費に寄附した。

石城郡内郷村家政女学校ではこの程同様に開催したバザーに於ける賣上金十五圓を生徒一同の代表山崎く子さんの名で軍事慰問費に寄附した。

石城郡内郷村家政女学校ではこの程同様に開催したバザーに於ける賣上金十五圓を生徒一同の代表山崎く子さんの名で軍事慰問費に寄附した。

上海戦・護國の精華

之次郎氏の三男で母にも死別し實家は妻を以て(三三)さんとの間に長男勳君(六六)と長女ふみさん(一一)を残して上海戦線の奮闘に戦死した向は弟妹あるが何れも他に出家中である。高松多七(〇〇)兵、石城郡磐崎村の上湯谷出身、湯本町の八仙から高松方へ婦養子となつたもの應召前ま

石城郡利の四倉茶種搾油所では軍部から望まれる白絞油の爲め九州福岡市の末次器械工場から同製油機を購入し同機を据付中であつたが漸く完成農林省の斡旋で前記福岡市から搾油機を専門技師出身末次伴一郎技師を聘し今十二日から白絞搾油の操業を開始したが操業通りの成績を得て愈々同油の需要にも應じられることになつた右の搾油機は上費約五千圓を要し主務省から四分の三の助成金を交付されることになつたが従來の原油搾油量年産六百石を全部

石城郡内郷村野城嶽住吉坑圓谷合宿所坑夫粉木照芳君は去る八月二十日水戸刑務所から十ヶ月の刑を終えて放免された後東京市小石川區八千代町自由労働者宿泊所に入り日雇工をしてゐるが以前入山炭坑に採炭夫をしてゐた経験から今月八日警察に來たり任吉坑に使役されて圓谷方

石城郡内郷村家政女学校ではこの程同様に開催したバザーに於ける賣上金十五圓を生徒一同の代表山崎く子さんの名で軍事慰問費に寄附した。

石城郡内郷村家政女学校ではこの程同様に開催したバザーに於ける賣上金十五圓を生徒一同の代表山崎く子さんの名で軍事慰問費に寄附した。

石城郡内郷村家政女学校ではこの程同様に開催したバザーに於ける賣上金十五圓を生徒一同の代表山崎く子さんの名で軍事慰問費に寄附した。

石城郡内郷村家政女学校ではこの程同様に開催したバザーに於ける賣上金十五圓を生徒一同の代表山崎く子さんの名で軍事慰問費に寄附した。

石城郡利の四倉茶種搾油所では軍部から望まれる白絞油の爲め九州福岡市の末次器械工場から同製油機を購入し同機を据付中であつたが漸く完成農林省の斡旋で前記福岡市から搾油機を専門技師出身末次伴一郎技師を聘し今十二日から白絞搾油の操業を開始したが操業通りの成績を得て愈々同油の需要にも應じられることになつた右の搾油機は上費約五千圓を要し主務省から四分の三の助成金を交付されることになつたが従來の原油搾油量年産六百石を全部

石城郡利の四倉茶種搾油所では軍部から望まれる白絞油の爲め九州福岡市の末次器械工場から同製油機を購入し同機を据付中であつたが漸く完成農林省の斡旋で前記福岡市から搾油機を専門技師出身末次伴一郎技師を聘し今十二日から白絞搾油の操業を開始したが操業通りの成績を得て愈々同油の需要にも應じられることになつた右の搾油機は上費約五千圓を要し主務省から四分の三の助成金を交付されることになつたが従來の原油搾油量年産六百石を全部

石城郡利の四倉茶種搾油所では軍部から望まれる白絞油の爲め九州福岡市の末次器械工場から同製油機を購入し同機を据付中であつたが漸く完成農林省の斡旋で前記福岡市から搾油機を専門技師出身末次伴一郎技師を聘し今十二日から白絞搾油の操業を開始したが操業通りの成績を得て愈々同油の需要にも應じられることになつた右の搾油機は上費約五千圓を要し主務省から四分の三の助成金を交付されることになつたが従來の原油搾油量年産六百石を全部

石城郡利の四倉茶種搾油所では軍部から望まれる白絞油の爲め九州福岡市の末次器械工場から同製油機を購入し同機を据付中であつたが漸く完成農林省の斡旋で前記福岡市から搾油機を専門技師出身末次伴一郎技師を聘し今十二日から白絞搾油の操業を開始したが操業通りの成績を得て愈々同油の需要にも應じられることになつた右の搾油機は上費約五千圓を要し主務省から四分の三の助成金を交付されることになつたが従來の原油搾油量年産六百石を全部

石城郡利の四倉茶種搾油所では軍部から望まれる白絞油の爲め九州福岡市の末次器械工場から同製油機を購入し同機を据付中であつたが漸く完成農林省の斡旋で前記福岡市から搾油機を専門技師出身末次伴一郎技師を聘し今十二日から白絞搾油の操業を開始したが操業通りの成績を得て愈々同油の需要にも應じられることになつた右の搾油機は上費約五千圓を要し主務省から四分の三の助成金を交付されることになつたが従來の原油搾油量年産六百石を全部

石城郡利の四倉茶種搾油所では軍部から望まれる白絞油の爲め九州福岡市の末次器械工場から同製油機を購入し同機を据付中であつたが漸く完成農林省の斡旋で前記福岡市から搾油機を専門技師出身末次伴一郎技師を聘し今十二日から白絞搾油の操業を開始したが操業通りの成績を得て愈々同油の需要にも應じられることになつた右の搾油機は上費約五千圓を要し主務省から四分の三の助成金を交付されることになつたが従來の原油搾油量年産六百石を全部

石城郡利の四倉茶種搾油所では軍部から望まれる白絞油の爲め九州福岡市の末次器械工場から同製油機を購入し同機を据付中であつたが漸く完成農林省の斡旋で前記福岡市から搾油機を専門技師出身末次伴一郎技師を聘し今十二日から白絞搾油の操業を開始したが操業通りの成績を得て愈々同油の需要にも應じられることになつた右の搾油機は上費約五千圓を要し主務省から四分の三の助成金を交付されることになつたが従來の原油搾油量年産六百石を全部

石城郡利の四倉茶種搾油所では軍部から望まれる白絞油の爲め九州福岡市の末次器械工場から同製油機を購入し同機を据付中であつたが漸く完成農林省の斡旋で前記福岡市から搾油機を専門技師出身末次伴一郎技師を聘し今十二日から白絞搾油の操業を開始したが操業通りの成績を得て愈々同油の需要にも應じられることになつた右の搾油機は上費約五千圓を要し主務省から四分の三の助成金を交付されることになつたが従來の原油搾油量年産六百石を全部

農業

林間を利用する 特用作物(上)

林業の多角的經營は林野の經濟的活用の見地から最近各方面の注目を集めてゐるが實際栽培家にとつて樹種の配合選定に指針がないため遺憾とされてゐるところ農林省の林業試験場明永技師は今同特用作物、綠肥、飼料植物の林間栽培について多年の研究を發表された、これ等はどれも學變の影響を受け増産の必要に迫られてゐる際であり農林省に於ては時局に適應したるものとして獎勵してゐる其の林間作物の數種を上げると次の如くである、

特用作物、この作物のなかには裸地よりも適當な日蔭のあるものがよりよく生育し、またかなりの日蔭地にも耐えて生育なし得るものとがある、こゝに耕作する特用作物はなるべく農家が收穫して直ちに利用なし得るものがよろしい、若し餘剰があつて販賣作物を栽培する場合はよくその市場關係を調査してからかゝらなければならぬ、此の例としては杉造林地内百合の栽培がある、

杉造林地内の百合の栽培は山百合、鬼百合がある、其の何れでもよい、大体二ヶ年間百合の木子を別の畑に於て育成なし杉の造林に當つて苗木の間に植へつけ二年後に收穫するのである、雑木林内の山芋、これもまたよろしい、種類は次ぎに述べる、

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 三三三 平市
用命は 三三三 用町

内科、小兒科 平市田町 電話五一三番
外科、花柳病科 高久病院
耳鼻咽喉科 院長 醫學士 高久忠
レントゲン科

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科

書夜 北川外科
診療 (血液検査毎日)
イツテモ 平市新川町二七(電四六四)
入院テキマス 後 師 三浦常保

デリーサービス
特別にマルトモのランチは...

日	月	火	水	木	金	土	日
ランチ	カツ	ポテ	エビ	メン	コロッ	ビー	ラン
△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ

本年流行
ヘルベツト地
婦人シヨール
三、八〇より一三、〇〇まで
豊富陳列
ツルヤ
平四・電一四〇

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話二六九番」

高久病院
病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町「電話二六九番」

レストラン
サロシ
町田平 二五三電

「看護見習募集」
明雲堂眼科醫院 (電話 六六九)
平田町(三丁目裏川岸通)
入院應需(自炊の便あり)

債券 公債 両替 金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

専門 皮膚科
泌尿器科
性病科
診療時間 午前八時より午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市用町 電話六九一番
院醫尻江

磐城寫友會展
於。マルトモホール
十一月十三、四両日
(土、日曜) 觀覽自由

美味經濟 醬油
山崎合會社
電話十番

第4回
磐城寫友會展
於。マルトモホール
十一月十三、四両日
(土、日曜) 觀覽自由